

群馬の畜産 みんなの情報室

第365号

発行日
令和7年7月31日

発行:公益社団法人 群馬県畜産協会
〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル 3階 / TEL:027-220-2371 FAX:027-220-2372
ホームページ:https://chikusankyokai.or.jp



～令和7年度に向けて～

公益社団法人 群馬県畜産協会
会長 林 康夫

日頃から群馬県畜産協会の運営並びに業務の推進につきまして、特段のご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。

去る令和7年6月27日に開催いたしました、第82回定時総会、並びに第61回理事会において、新役員4名が選任されました。新体制のもと決意を新たに、本県畜産業の健全な発展のため、全力で諸課題に取り組んで参ります。

さて、畜産を巡る情勢につきましては、物価高騰を背景に、国内の食肉消費は牛肉から値ごろ感の強い豚肉や鶏肉にシフトする動きもみられ、和牛肉は消費の冷え込みから、枝肉価格及び子牛価格は、一部ブランド牛を除き低調な相場が続きました。加えて、輸入飼料価格は、国際情勢の悪化、円安、世界的な穀物需要の増大などの要因により、今もなお高騰水準で推移しており、生産コストの上昇が畜産経営を著しく圧迫しています。

また、本県では、令和7年1月から5月にかけて豚熱が4農場で確認され予断を許さない状況が続いており、農場の飼養衛生管理基準の遵守・徹底と野生イノシシ対策のより一層の強化が求められています。

本会としましては、こうした状況を踏まえ、畜産経営体が持続可能な経営が出来るよう、行政及び関係団体と連携しながら、喫緊の課題である家畜・畜産物の価格安定対策をはじめとする経営支援のほか、衛生対策及び家畜・飼料の生産振興などの諸課題に迅速に対応して参る所存であります。

生産者をはじめ、関係機関・団体の皆様におかれましては、今後とも本会に対する特段のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

目次

会長挨拶	1	第29回群馬県畜産共進会の案内	8
令和7年度の役員体制の紹介	2	畜産リノベ資金等の説明会を開催	8
令和6年度の事業報告並びに貸借対照表、正味財産増減計算書が承認されました	2	和牛全共だより	9
第16回全日本ホルスタイン共進会北海道大会に向けて	6	令和7年度群馬県農業クラブ連盟主催 家畜審査協議大会の開催	10
2025セントラルジャパンホルスタインショウについて	7	価格安定事業の発動状況	10
令和7年度前期乳牛体型調査・牛群審査について	7	市況	11
ヤギの巡回登録について	8	みんなで行こう!ケイバ!南関東4競馬場開催日程	12

令和7年度役員のご紹介

第82回定時総会にて、辞任等に伴う役員を選任が行われ、また第61回理事会におきまして、役付理事が決定しました。

1 役付理事

会 長	林 康夫	群馬県農協中央会・各連合会会長
副 会 長	天笠 淳家	群馬県農業協同組合中央会副会長
副 会 長	石井 隆志（新任）	群馬県農政部米麦畜産課長
専務理事	富田 孝	学識経験者

2 理事

小林 幹男（新任）	ぐんま酪農業協同組合代表理事組合長
中里 昌弘	株式会社群馬県食肉卸売市場代表取締役社長
小野 和則	群馬県農業共済組合専務理事
矢内 功	学識経験者
矢端 幹男	前橋市農業協同組合代表理事組合長
奥木 隆人	あがつま農業協同組合代表理事理事長
新井 淳一	新田みどり農業協同組合代表理事組合長
松下 洋一	群馬県市長会課長
河野 哲也	群馬県町村会事務局長
高瀬 淳一	群馬県養豚協会会長
都丸 高志	群馬県養鶏協会会長
星野 勝将（新任）	群馬県 JA 繁殖和牛部連絡協議会会長
今井 洋平（新任）	群馬県 JA 肉牛肥育部連絡協議会会長

3 監事

櫻井 英俊	全国共済農業協同組合連合会群馬県本部運営委員会副会長
大久保克美	東毛酪農業協同組合代表理事組合長
桜井 正喜	群馬県家畜商商業組合理事長

どうぞ、よろしくお願いたします。

令和6年度の事業報告及び貸借対照表、正味財産増減計算書が承認されました

去る、令和7年6月27日に、本会の全正会員が出席され、第82回定時総会が開催されました。6月12日に開催された第60回理事会において、承認いただいた令和6年度の事業報告について報告を行ったほか、令和6年度の貸借対照表及び正味財産増減計算書について、承認いただきました。その概要をお知らせいたします。

1 令和6年度の実施事業の実績について

令和6年度においては、公益目的事業75事業、収益等事業14事業の合計89事業を実施しました。

賃金上昇が電気やガス、日用品等の物価高騰に追いつかず、実質的な国民の生活水準は低下傾向となりました。食肉については、和牛肉の輸出が好調であった一方、国内消費は牛肉から値ごろ感の強い豚肉や鶏肉にシフトし、特に和牛肉の消費が冷え込んだ年となりました。

また、国際的な穀物需要の高まりやロシアによるウクライナ侵攻の長期化、為替変動などを背景に、依然として配合飼料価格等は最高水準で高止まりしており、物価上昇に伴う生産コストの転嫁が困難な状況から、畜産経営は厳しい局面が続きました。

家畜衛生においては、全国で高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）が51例、豚熱（CSF）が7例発生し、本会では群馬県や関係機関、民間獣医師と連携して農場飼養衛生管理強化に向けた側面的支援を行ってきましたが、令和7年1月に1例、2月に1例の計2例の豚熱（CSF）が発生しました。より一層の防疫対策の強化と畜産生産者の家畜衛生に対する意識向上を図る必要性を再認識した年となりました。

本会は、畜産専門機関としての役割を果たすため、職員一丸となって全力で業務に取り組み、今年度も概ね計画どおり事業を実施しました。

公益目的事業のうち、畜産経営の安定を図る事業（9事業）においては、前年度に引き続き、牛肉価格の低迷や為替相場の円安、配合飼料価格等の高騰などにより生産コストが上昇し続けており、「肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）」では、肉専用種と乳用種で11か月、交雑種で5か月発動し、昨年度と同程度の13億3,206万円の交付金を交付しました。

「肉用子牛生産者補給金制度」では、和子牛の第4四半期（令和7年1～3月期）の価格は持ち直したものの、第1四半期から第3四半期（令和6年4～12月期）で発動し、本制度で登録され販売または自家保留された子牛に

対して補給金1億1,396万円を交付しました。

また、飼養管理等の向上に取り組む和子牛生産者を緊急に支援する「優良和子牛生産推進緊急支援事業」では、変動基準価格を下回った肉用子牛生産者補給金制度の登録・販売牛1,765頭に対して、5,295万円の奨励金を交付したほか、肉豚経営安定交付金制度（豚マルキン）の円滑な事務の実施を図り、本県の畜産経営のセーフティネットとしての役割を果たしました。

畜産経営の向上を図る事業（27事業）では、畜産経営の高度化に必要な情報提供、個人経営から企業的経営等の多様なニーズに対応した経営指導や、畜産特別資金利用者等の経営改善指導等を継続的に行ったほか、安全で安心な国産畜産物の生産、畜産農家が求める経営・技術に有用な情報の提供、畜産クラスター事業の機械導入事業の県窓口としてクラスター計画に基づく導入申請等へのサポートやアドバイス、優良な経営管理技術を有する経営体の経営成果等の調査、畜産物の輸出に対する初期対応を行う相談窓口の設置、畜産物輸出に対する理解醸成を図る活動、畜産経営における人材確保と労働力の負担軽減、酪農および肉用牛経営の飼養管理技術の高度化並びに省力化を図る畜産 ICT 機械等の活用支援、畜産経営に参画する女性を対象とした研修会の開催、第三者経営継承に対する支援、酪農ヘルパー組織の維持や統合支援、酪農ヘルパー要員確保活動、傷病発生時等の酪農ヘルパー利用の相互扶助を図る互助会の運営、堆肥や副資材の活用推進や、産業動物獣医師として県内に勤務を希望する獣医学生に対する修学資金の給付など、畜産経営の向上に係る幅広い支援を実施しました。

このほか、新たに中央畜産会から畜産クラスター事業の全国推進事業の一部を受託し、施設整備・機械導入が完了した経営（取組主体）の省力化機械等の導入前後の経営内容について導入効果等の調査を実施しました。

家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成に関する事業（22事業）では、生産農場における飼養衛生管理の向上や家畜の伝染性疾病の清浄化、疾病の発生予防に向けた自主淘汰支援やワクチン接種費用の負担軽減、防疫演習の支援や、自衛防疫団体等が実施する予防注射に必要な衛生資材等についての支払事務等を実施しました。

また、豚熱（CSF）への対策として、野生イノシシ経口ワクチンの散布により、豚熱ウイルスの拡散防止を図る対策協議会の運営、養豚の生産性を阻害する豚繁殖・呼吸障害症候群（PRRS）の発生低減・排除を図るための指導獣医師と連携した検査と指導、馬の飼養衛生管理向上のための研修会の開催、馬インフルエンザ等のワクチン接種の推進、農場 HACCP、畜産 GAP の構築支援や認証の推進、畜産や地方競馬振興への消費者の理解を促進するための牧場体験、畜産普及啓発活動等を実施しました。

このほか、本会独自事業（自主事業）として、山羊の多面的機能を生かした活用需要の掘り起こしを図るため、山羊乳の加工等について調査・検討を行ったほか、乳牛、肉豚における生産振興に係る各種事業を実施しました。

家畜の能力向上を促進する事業（17事業）では、家畜改良・増殖を促進する事業、繁殖和牛およびホルスタイン種において家畜の改良成果を展示し優れた形質をもつ家畜を競い称える群馬県畜産共進会の開催、地区で開催される家畜共進会の褒賞等の交付、令和9（2027）年8月に開催予定の第13回全国和牛能力共進会（北海道大会）の出品対策の実施、和牛の遺伝子検査によるゲノミック評価を活用した早期の繁殖雌牛候補牛の能力把握の促進や、乳用牛の SNP 検査を推進するための検査料補助を行いました。

このほか、令和3年度に実施した輸出拡大に向けた畜産クラスター計画に基づく優良な和牛繁殖雌牛の増頭推進事

（ ）は補正予算時の事業数

会計区分	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
公益目的事業	公1(1)経営安定支援	3 (3)			2 (2)	1 (1)	3 (3)	9 (9)
	公1(2)経営向上支援	7 (7)		1 (1)	10 (10)		9 (9)	27 (27)
	公1(3)安全・理解	4 (4)	6 (6)		4 (4)		8 (8)	22 (22)
	公1(4)能力向上	7 (7)		4 (4)	2 (2)		4 (4)	17 (17)
	小計	21 (21)	6 (6)	5 (5)	18 (18)		1 (1)	24 (24)
収益等事業	収1(1)家畜登録				6 (6)			6 (6)
	他1(1)団体事務受託					8 (8)		8 (8)
	小計				6 (6)	8 (8)		14 (14)
合計	21 (21)	6 (6)	5 (5)	18 (18)	6 (6)	9 (9)	24 (24)	89 (89)

（ ）は補正予算時の事業数

補助元等	補助事業	助成事業	特別事業	受託事業	家畜登録	事務受託	自主事業	計
農林水産省	3 (3)							3 (3)
群馬県	10 (10)							10 (10)
農畜産業振興機構	6 (6)			1 (1)				7 (7)
地方競馬全国協会	1 (1)							1 (1)
家畜登録団体					6 (6)			6 (6)
中央畜産会	1 (1)	5 (5)		9 (9)				15 (15)
その他団体		1 (1)		7 (7)				8 (8)
事務受託先						8 (8)		8 (8)
その他			4 (4)	1 (1)			3 (3)	8 (8)
自己資金			1 (1)			1 (1)	21 (21)	23 (23)
合計	21 (21)	6 (6)	5 (5)	18 (18)	6 (6)	9 (9)	24 (24)	89 (89)

業の成果実績の取りまとめ、高齢の繁殖雌牛から優良な若い繁殖雌牛への更新を図る取組に対する経費の支援や、令和7（2025）年10月25日に開催される第16回全日本ホルスタイン共進会（北海道大会）に係る出品対策を実施しました。

収益事業等については、畜産に関する収益等事業（6事業）、畜産の振興を図る事業（8事業）で、和牛、乳牛（ホルスタイン種、ジャージー種）、種豚、山羊（日本ザーネン種）の各家畜の血統登録を積極的に推進し、血統登録を行ったほか、県内の生産者等の団体からの事務を受託し、地域の畜産振興を図るとともに、公益目的事業を実施するための財源として収益性の確保に努めました。

今後も、畜産を取り巻く中長期的な課題や実態を十分に踏まえて事業を継続して実施するとともに、飼養衛生管理、家畜衛生等を強化する事業に積極的に取り組むほか、国際化に対応した畜産経営の確立と畜産経営の安定向上、安全で良質な畜産物の生産に貢献し、国民生活に不可欠な食料の安定的な供給に寄与してまいります。

2 令和6年度の会計状況について

令和6年度においては、補助事業21事業、助成事業6事業、特別事業5事業、受託事業18事業、家畜登録事業6事業、団体・生産者からの事務受託事業9事業、自主事業24事業の合計89事業を実施し、経常収益1,769,726千円、経常費用1,761,033千円、経常外収益・費用を含めた他会計振替前当期一般正味財産増減額は8,693千円の増加となりました。

これを前年度の実績額と比較しますと、経常収益は58,177千円の減少、経常費用は63,380千円の減少となりました。

経常収益の主な動きとしては、前年度実績との比較では、肉用子牛生産者補給金制度の発動に伴い、受取機構生産者補給交付金が64,574千円の増加、繁殖経営に対する緊急支援事業等で機構受取補助金が42,465千円の増加、第13回全国和牛能力共進会の出品対策事業の実施等により県受取補助金が1,885千円の増加となりました。一方、肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）は発動減に伴い、生産者に支払われる受託機構交付金が前年度に比べ96,020千円の減少したほか、受取生産者負担金が32,007千円の減少となりました。また、生産農場衛生対策事業における牛ウイルス性下痢・粘膜病生（PI牛）の自主淘汰がなかったこと、また牛海綿状脳症（BSE）の検査基準の見直しに伴う検査対象牛の減少等により国受取補助金は7,165千円の減少となりました。

また、登録事業収益は、38,479千円の減少となりますが、これは会計処理方法の変更に伴い、登録団体に支払う登録料と支払い登録料の純額を事業収入と一部を委託料収入に計上したことにより8,910千円の増加となりました。

経常費用の主な動きとしては、前年度実績との比較では、事業費は62,749千円の減少、管理費は700千円の減少となりました。

主な事業費の増加については、肉用子牛生産者補給金制度の発動により支払機構生産者補給金が64,574千円の増加、各種補助金の交付額が35,804千円の増加となりました。

一方、主な減少については、肉用牛肥育経営安定交付金（牛マルキン）の肉用牛肥育交付金が発動減により128,027千円の減少、衛生資材費が家畜衛生推進事業のワクチン接種の希望頭数減により3,488千円の減少となりました。

本会は、公益目的事業の割合が高いため、会計の性質上、経常収益、経常費用は平行に変動しますが、今年度は、前年度実績との対比で、経常収益で-3%、経常費用で-4%と費用抑制の傾向となりました。

これは、派遣職員の派遣料の改訂、正職員に対する緊急措置としての物価高騰対策への対応、管理部門に有資格者等の派遣職員配置等を実施し費用が増加した一方、再雇用者の退職、育児休業、病気療養に伴う休職等が発生し、給与手当は、前年度と比較して事業費で3,857千円の減少、管理費で530千円の減少、賃金（派遣料）は、管理配置の派遣職員の従事時間を一部業務に仕向けたことから、事業費で1,770千円の増加、管理費で437千円の減少となり、当期計上増減額は8,693千円の増加となりました。

収益事業等会計のうち、畜産振興事業会計が7,470千円の減少のため、畜産収益事業の安定的な実施を図るため同額を振り替えました。また、公益法人は、収益事業から得られる財産の増加を公益目的事業の実施に充て、さらに公益目的事業を拡大していくことを求められており、公益目的事業の安定的な実施を図るために、定められた方法に従い、収益事業等会計から公益目的事業会計に7,482千円を振り替えました。

さらに、法人税、住民税及び事業税の943千円を畜産収益事業会計から差引き、当期一般正味財産増減額は、公益目的事業会計は5,831千円の増加、畜産収益事業会計は829千円の減少となりました。

増額となった公益目的事業会計の5,831千円は、次年度以降2年以内の公益目的事業の実施に備えます。

3 一般正味財産の動き

(1) 公益目的事業会計

公益目的事業の主な財源は、会費の2分の1相当額、補助事業等の事業費、及びそれに伴う事務手数料等です。令和6年度においては、経常収益1,712,088千円、経常費用1,713,739千円で、当期経常増減額は1,650千円の減少となりました。収益事業等会計（畜産収益事業会計）の他会計振替前当期一般正味財産増加額から定められた方法により算定された7,482千円を振り替え、本会計の税引前当期一般正味財産増減額は1,650千円の減少となりました。

(2) 収益事業等会計

本会の収益事業等会計の財源は、登録事業収益、及び生産者等の団体からの事務受託により得られる収入が計上されます。令和6年度においては、経常収益48,895千円、経常費用41,299千円で、当期経常増減額は7,596千円の増加となりました。

このうち、定められた方法により算定された畜産収益事業会計の14,953千円について、公益目的事業会計に7,482千円を、畜産振興事業会計に7,470千円を振り替えました。

ア 畜産収益事業

畜産収益事業の主な収益事業である家畜登録事業では、昨年度と比較し、乳牛（ホルスタイン）の血統登録が約9%増加した一方、和牛の登記・登録は約12%、種豚は約53%の減少となりました。令和6年度から、日本ホルスタイン協会、日本養豚協会、畜産技術協会の各登録機関に支払う登録料の計上方法を変更（登録団体へ納付する登録料を借受方式に変更）したため、財務帳票上の前年度との比較はできません。

イ 畜産振興事業

畜産振興事業会計の主な収益事業である生産者等団体等からの事務受託事業は、各団体から前年度同様の事務受託料を財源として畜産振興を図りました。

令和6年度においては、経常収益が3,918千円、経常費用が11,389千円で、他会計振替前当期一般正味財産増減額は7,470千円の減少となりました。

安定した畜産振興を図るため、畜産収益事業会計（家畜登録事業の収益）から、同額を振り替えし、生産者等団体等からの事務委託の実施に備えました。

(3) 法人会計

この会計は会費の2分の1相当額を財源とし、本会の会務に使用する会計です。令和6年度においては、経常収益8,742千円、経常費用5,995千円で、継続して管理費等の節減に努めた結果、他会計振替前当期一般正味財産増減額は2,747千円の増加となりました。

(4) 法人税、住民税、事業税等の支払い後の当期一般正味財産増減額

法人税、住民税、事業税等について、畜産収益事業会計により支出した結果、公益目的事業会計は5,831千円、収益事業等会計はマイナス829千円、法人会計は2,747千円となり、合計は7,749千円となりました。

正味財産増減計算書

法人全体

公益社団法人 群馬県畜産協会

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	2,540,242	2,207,174	333,068
受取会費	15,265,000	15,265,000	0
事業収益	66,514,062	97,206,825	△30,692,763
受取補助金等	1,265,987,536	1,259,922,458	6,065,078
受取助成金	25,545,580	24,963,277	582,303
受取受託金	26,839,215	24,416,245	2,422,970
賦課金収益	5,281,100	5,367,100	△86,000
受取積立金	2,136,000	2,820,000	△684,000
受取生産者負担金	333,017,801	365,024,837	△32,007,036
受取負担金	22,335,782	26,259,192	△3,923,410
受取寄付金	937,810	1,086,710	△148,900
雑収益	3,326,763	3,365,966	△39,203
経常収益計	1,769,726,891	1,827,904,784	△58,177,893
(2) 経常費用			
事業費	1,755,038,355	1,817,787,829	△62,749,474
管理費	5,995,210	6,626,553	△631,343
経常費用計	1,761,033,565	1,824,414,382	△63,380,817
当期経常増減額	8,693,326	3,490,402	5,202,924
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取返還金	2,522,980	5,882,377	△3,359,397
経常外収益計	2,522,980	5,882,377	△3,359,397
(2) 経常外費用			
支払返還金	2,522,980	5,882,377	△3,359,397
経常外費用計	2,522,980	5,882,377	△3,359,397
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	8,693,326	3,490,402	5,202,924
法人税、住民税及び事業税	943,800	1,110,100	△166,300
当期一般正味財産増減額	7,749,526	2,380,302	5,369,224
一般正味財産期首残高	376,424,799	374,044,497	2,380,302
一般正味財産期末残高	384,174,325	376,424,799	7,749,526
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	12,842,000	13,000,200	△158,200
受取積立金	6,421,000	6,500,100	△79,100
受取生産者負担金	495,738,000	480,127,000	15,611,000
特定資産運用益	2,201,703	1,521,066	680,637
一般正味財産への振替額	△340,036,281	△372,379,665	32,343,384
当期指定正味財産増減額	177,166,422	128,768,701	48,397,721
指定正味財産期首残高	1,682,782,830	1,554,014,129	128,768,701
指定正味財産期末残高	1,859,949,252	1,682,782,830	177,166,422
III 正味財産期末残高	2,244,123,577	2,059,207,629	184,915,948

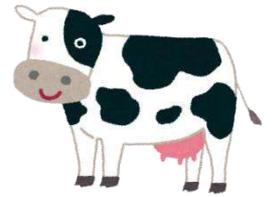
第16回全日本ホルスタイン共進会北海道大会に向けて

令和7年10月25日（土）～26日（日）の2日間にわたり、一般社団法人日本ホルスタイン登録協会が主催する「第16回全日本ホルスタイン共進会北海道大会」が北海道勇払郡安平町にて開催されます。

本共進会に向けて、令和7年4月23日（水）にJAビルにて、第2回出品部会を開催しました。部会では、出品対策の経過報告や第1期（第1回）出品候補牛の申込状況、衛生対策、今後の出品対策等について協議しました。

また、第2回出品部会で決定した今後の予定は以下のとおりです。

7月28日（月）	出品部会委員による出品申込牛の巡回指導
29日（火）	
8月8日（金）	第3回出品部会
9月26日（金）	群馬県予選会 会場：群馬県畜産試験場 審査員：高橋直人氏(ストレートマン・キャトルケア・サービス)



◆出品候補牛申込状況について

令和7年7月31日時点でとりまとめている出品候補牛申込状況は以下のとおりです。

	第1期（第1回）	第1期（第2回）	巡回指導後
締切日	R7.3.31	R5.7.22	R7.7.29
申込頭数	293頭	127頭	111頭
戸数	15戸	14戸	14戸

*群馬県立吾妻中央高等学校の7頭を含む

巡回指導後の出品候補牛は、群馬県の選定牛として第16回全日本ホルスタイン共進会事務局へ報告し、群馬県予選会の出品予定牛となります。

群馬県予選会では、群馬県の割当頭数12頭（一般枠9頭、Jサイア娘牛枠2頭、高校特別枠1頭）を決定します。

◆出品部会委員による出品申込牛の巡回指導について

令和7年7月28日（月）～29日（火）の2日間にわたり、出品部会委員による出品申込牛の巡回指導を実施しました。1日目は吾妻地域、利根・沼田地域、中部地域の8生産者、2日目は東部地域、西部地域の6生産者を巡回し、出品申込牛の状態観察、ワクチン接種実施状況、出品資格条件の確認等を行いました。

本県では、出品牛が第16回全日本ホルスタイン共進会北海道大会で優秀な成績が収められるよう、関係者一丸となって取り組んでまいります。引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。



巡回指導の様子



群馬県立吾妻中央高等学校での様子

2025セントラルジャパンホルスタインショウについて

令和7年4月4日（金）～5日（土）の2日間にわたり、2025セントラルジャパンホルスタインショウが静岡県御殿場市馬術スポーツセンターにて開催されました。本県からは22頭が出品され、下表のとおり好成績を収め、第12部の(株)長坂牧場が出品した「ラブリファーム クインブルック」はシニアチャンピオンを受賞しました。

また、令和7年6月16日（月）に群馬県庁にて、群馬県農政部長に2025セントラルジャパンホルスタインショウの成績を報告しました。

本県出品牛における各部3席までの入賞牛一覧

出品部	成績	出品者	名号
第1部	1席 ★リザーブジュニアチャンピオン	群馬県立吾妻中央高等学校	アガチュー ショング リア M ハズ イット ルック フタゴ
第2部	2席	群馬県立吾妻中央高等学校	アガチュー L ルート
第3部	2席	齋藤 丈嗣	エステリア WEアネリス Tストーム アイスバン
第4部	1席	遠坂 和仁	エステリア Wリアンズ ラムダ リーブ
第5部	1席	三輪 圭吾	リスベクト ハンコック ヴェアール
第6部	3席	細野 孝之	Tマミーポッター GF インスタ グラム
第10部	1席 ★リザーブシニアチャンピオン	(株)KC牧場	エリー バリアント エンジェルパイ
	2席	齋藤 丈嗣	クレマチス YアンドH オーキッド HJ フラワー
第11部	3席	(有)神澤牧場	ゴッドフレイ キングドック ミツシー
第12部	1席 ★シニアチャンピオン	(株)長坂牧場	ラブリファーム クインブルック
	2席	(有)萩原牧場	ゴッドフレイ キングドック アイボリー



シニアチャンピオン牛：(株)長坂牧場



リザーブジュニアチャンピオン牛：吾妻中央高校



リザーブシニアチャンピオン牛：(有)KC牧場

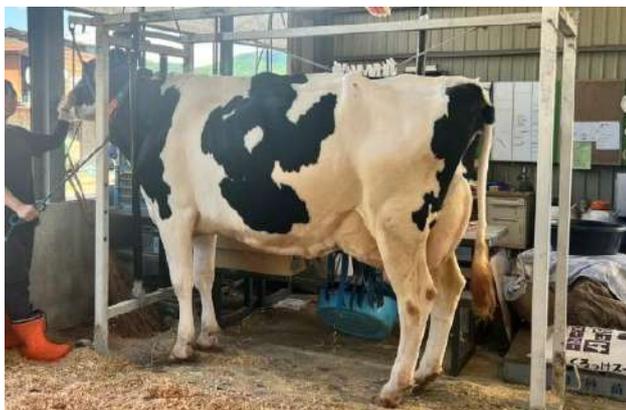
その他成績

第15部（各都道府県対抗戦）	優勝
最優秀学校賞	群馬県立吾妻中央高等学校
学生リードマン賞（高校2年生以下の部）	

令和7年度前期乳牛体型調査・牛群審査について

令和7年5月8日（木）～30日（金）の16日間にわたり、一般社団法人日本ホルスタイン登録協会による体型調査・牛群審査が実施されました。県内72戸のご協力により、体型調査339頭、SNP審査152頭、牛群審査172頭、奨励審査32頭、計695頭を調査・審査することができました。また、85点以上のペリーグッド牛が195頭、90点以上のエクセレント牛が22頭と、高得点牛が多く輩出されました。

(有)萩原牧場所有の「ゴッドフレイ キングドック アイボリー」、(株)長坂牧場所有の「ラブリファーム クインブルック」については、乳用強健性、乳器が高く評価され、93点を獲得しました。



ゴッドフレイ キングドック アイボリー（5産）
(有)萩原牧場 所有



ラブリファーム クインブルック（8産）
(株)長坂牧場 所有

ヤギの巡回登録について

令和7年6月11日（水）～7月11日（金）にかけて、山羊の登録巡回を実施しました。県内飼養者7戸を巡回し、今年の2月から6月にかけて生まれた32頭（♀17頭、♂15頭）の子山羊の登録を行いました。夏の暑さに負けずのびのびと育つ山羊を見ることができ、令和7年8月29日（金）に開催する第29回群馬県畜産共進会（山羊の部）での審査が楽しみになるような山羊が多い印象でした。共進会の後には、付帯行事である種山羊交換会（競り）が行われます。全国的にも珍しい行事であり、登録山羊（ザーネン種）のみが出品される交換会です。ご興味のある方は是非ご来場ください。



高崎市で山羊を飼養している清水雅祥氏(左)と登録山羊2頭（共進会出品予定）



令和6年度金賞受賞山羊



共進会の詳細はQRコードから



第29回群馬県畜産共進会の案内

優良な家畜の改良促進を目的に第29回群馬県畜産共進会を下記のとおり予定しています。詳細は本会HPをご覧ください。<https://www.chikusankyokai.or.jp/>

畜種	日時	場所
山羊の部	令和7年 8月29日(金)	全国農業協同組合連合会 渋川家畜市場
繁殖和牛の部	令和7年11月10日(月)	群馬県畜産試験場
乳牛の部	令和7年11月17日(月)	群馬県畜産試験場

畜産リノベ資金等の説明会を開催

令和7年5月21日（水）に群馬県産業技術センターにて、畜産リノベ資金等の県内向けの説明会を開催し、県内各農協等から23名の方に出席いただきました。

今年度名称変更のあった畜産リノベ資金（旧名：畜特資金）、新設された酪肉支援資金（酪農・肉用牛担い手緊急支援資金）を本会から説明したほか、こちらも今年度新設された家畜疾病病経営維持資金におけるクイック融資メニューについて県農政部米麦畜産課から説明いただきました。

また、質疑応答では畜産リノベ資金の対象となる資金についての質問がありました。本資金は畜産経営における長期借入金等の借換が対象であり、飼料の買掛未払金等を直接本資金の対象とすることはできませんので、利用を考えている場合にはご注意ください。

上記資金の中でも特に酪肉支援資金については令和7年度のみ実施される予定の制度資金です。酪農・肉用牛経営における3年分の返済金額を限度額として長期・低利で借換を行うことができますので、必要とされる方が利用できるよう関係団体のみならずからも周知をお願いするとともに、本会としても生産者へのチラシの配布等による周知を継続していきます。

和牛全共だより

◆第13回全国和牛能力共進会 種牛の部、第2区の繁殖期間中です。出品希望者は、下記の表で出品条件を確認のうえ、繁殖を実施しましょう。

出品区	第2区	第3区
区名	若雌の1	若雌の2
生後月齢	14~17ヵ月未満	17~20ヵ月未満
生年月日	R8.3.27~6.26	R7.12.27~R8.3.26
授精・移植時期	R7.6.15~9.14	R7.3.17~6.14
出品単位	単品	
父牛	平成25年10月1日以降生まれであること	
母牛	自県産とする	
産肉能力条件	父牛、母牛、本牛のいずれかが本原登録または高等登録であるもの または、本牛が本原登録の育種価条件を満たしたものはこれに準ずる	
繁殖能力条件（本牛の母）	いずれかの条件を満たすもの ①高等登録 ②基本・本原登録の場合は次の条件を満たすもの ■初産月齢28ヵ月以内 ■分娩間隔の育種価が県の平均以上（B以上）か分娩間隔が400日以内	
飼養期間	申込みから最終審査まで3ヵ月以上所有・飼育	

◆肉牛の部、第8区用に作出された牛の分娩が令和7年8月27日から始まります。分娩前の疾病対策、今後のスケジュール等の確認を兼ねて巡回指導を7月~8月に実施いたしますので、ご協力をお願いします。なお、現在約200頭（全共受精卵+農家作出牛）が受胎しています。

◆今後のスケジュール

日程	内容
令和7年 9月 1日（月）	第3回群馬県出品対策協議会
令和7年11月19日（水）	全共出品対策研修会 講師：宮崎県生産者 石山氏
令和7年11月~12月	「肉牛の部」第8区出品候補牛巡回調査
令和8年 1月中旬	「肉牛の部」第8区出品候補牛交換会





国産の牛乳、お肉、卵を食べてまもろう

畜産物を生産するためのコストが上昇しています。
皆様に国産の畜産物を食べていただくことが生産者の応援に繋がります。

公益社団法人
中央畜産会
公益社団法人
群馬県畜産協会

全国の畜産会組織は地方競馬の売上の一部を活用して、日本の畜産振興に取り組んでいます。

令和7年度群馬県学校農業クラブ連盟主催 家畜審査競技大会の開催

令和7年6月10日(火)に群馬県畜産試験場にて、群馬県学校農業クラブ連盟主催の家畜審査競技大会が開催されました。本大会は県内の農業関係7校から計112名の生徒が参加し、乳牛の部と和牛の部に分かれて家畜の審査を行いました。

最優秀賞は、乳牛の部では利根実業高等学校2年生の番場有織さん、和牛の部では吾妻中央高等学校2年生の石北優美那さんがそれぞれ受賞しました。

当日はあいにくの雨であったため、被毛の質等が分かりづらく難しい審査となりましたが、どの生徒も真剣に審査に取り組んでいました。



家畜審査協議大会 開会式



家畜審査協議大会 審査の様子

価格安定事業の発動状況

■肉用子牛生産者補給金制度 補給金交付状況

区分	平均売買価格(円)								交付単価(円)					交付額(円)							
	業対	年次	月次	期別	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑		
8	7	1 ~ 3	第4四半期	589,700	670,700	278,100	205,200	389,400	0	0	49,900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		4 ~ 6	第1四半期	650,900	621,100	-	254,700	382,500	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		7 ~ 9	第2四半期																		
		10 ~ 12	第3四半期																		
計				※他肉(その他肉専用種)はR2年度より算定期間が1年(4月~3月)となりました。																	

【優良和子牛生産推進緊急支援事業及び和子牛産地盤強化緊急特別対策事業平均価格等(令和6年10月~12月分)】

1 発動基準価格及び平均価格

品種・ブロック名	平均価格	優良和子牛生産推進緊急支援事業 【継続事業】					和子牛産地盤強化緊急 特別対策事業【新規事業】	
		発動基準価格			奨励金 発動	発動基準 価格	奨励金 発動	
		A	B	C				
黒毛和種	北海道	717,224	610,000	590,000	580,000	—	610,000	—
	東北	615,485				—		—
	本州関東以西・四国	654,798				—		—
	兵庫県	1,002,686				—		—
	九州・沖縄	653,031				—		—
褐毛和種	621,100	560,000	540,000	530,000	—	560,000	—	
その他の肉専用種	—	360,000	340,000	—	—	360,000	—	

2 発動基準ごとの奨励金単価

(単価:円/頭)

品種	優良和子牛生産推進緊急支援事業 【継続事業】					和子牛産地盤強化緊急 特別対策事業【新規事業】	
	発動基準	取組数2	取組数3	取組数4以上	離島等以外	離島等	
黒毛和種	A	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000	
	B	10,000	20,000	20,000			
	C	10,000	20,000	30,000			

※本県の事業参加者は全員取組数4以上

◆肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン） 交付金交付状況

期間	品種区分	納付区分	支払区分	交付対象		交付金の額			交付日
				人数 (人)	頭数 (頭)	(円) (4/4)	交付金として 支払う額(3/4)	積立金から 支払われる額(1/4)	
令和7年 4月期	肉専用種	通常	概算払	/	0	0	0	0	概算払日 令和7年 6月26日
		計			0	0	0	0	
	交雑種	通常	概算払	/	0	0	0	0	
		計			0	0	0	0	
	乳用種	通常	概算払	/	4	57,901	43,425	14,476	
		計			3	4	57,901	43,425	
	小計	通常	概算払	/	4	57,901	43,425	14,476	
		計					57,901	43,425	
			精算払	/	3	4	0	0	
		計					57,901	43,425	

◆肉豚経営安定交付金制度（豚マルキン） 交付金単価について

算出期間	令和7年4月から6月まで
肉豚1頭当たりの標準的販売価格	47,635 円/頭
肉豚1頭当たりの標準的生産費	44,451 円/頭
肉豚1頭当たりの交付金単価	—

市況

和牛子牛市場成績【JA全農ぐんま渋川家畜市場】

開催月	性別	取引頭数	高値(円)	安値(円)	平均価格(円)	平均体重(kg)	平均日齢(日)	Kg単価(円)
令和7年 6月	雌	92	883,300	326,700	594,286	304	297	1,951
	去勢	154	999,900	295,900	724,792	342	292	2,113
	合計	246			675,985	328	294	2,057

開催月	性別	取引頭数	高値(円)	安値(円)	平均価格(円)	平均体重(kg)	平均日齢(日)	Kg単価(円)
令和7年 7月	雌	107	1,210,000	309,100	586,279	306	300	1,912
	去勢	139	986,700	223,300	713,805	340	290	2,097
	合計	246			658,336	325	294	2,021

乳用牛市場成績

開催月	畜種区分	授精区分	腹子品種	頭数(頭)	平均体重(kg)	平均価格(円)	
令和7年 5月	未経産			20	275	212,700	
		初妊	AI	ホルス	1	534	553,000
	交雑種			20	552	588,400	
	ET		和牛	3	514	781,667	
	経産				17	643	286,059
		AI	ホルス	2	566	308,500	
			交雑種	18	677	407,222	
		ET	和牛	1	571	603,000	
		IVF	IVF	1	722	426,000	
	合計				83	532	394,687

前橋家畜市場取引結果【群馬県家畜商商業協同組合】

開催日 令和7年6月1日～6月30日

品種	区分	性別	売買頭数	最高値(円)	最低値(円)	平均(円)	平均体重(kg)
和牛	子牛	メス	142	661,100	234,300	444,671	151
		オス	212	865,700	110,000	540,162	166
	スモール	メス	1	317,900	317,900	317,900	68
交雑種	子牛	メス	32	409,200	27,500	317,659	235
		オス	19	434,500	22,660	324,940	217
	スモール	メス	342	435,600	39,600	289,692	89
		オス	420	418,000	27,720	325,142	95
乳牛	子牛	メス	8	124,300	14,300	69,740	117
		オス	9	133,100	12,100	52,299	169
	スモール	メス	6	99,000	6,600	66,733	59
		オス	128	185,900	550	95,227	74

